

CODE : A402101
TYPE : PM-SPH

《警告表示》

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。
これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品が壊れるなどの恐れがあります。



この表示の欄は取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。



この表示の欄は取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



お客様の安全のために、ご使用になる前は必ずこの説明書をお読みください。
読まれた後は大切に保管してください。

ポンプの改造、分解、ペイントは絶対にしないでください。ポンプに穴をあけたり、削ったり、改造したりすると非常に危険です。
また塗料や熱の影響により材質が侵され性能が低下するおそれがありますので、絶対にしないでください。

●使用前に次の点検をしてください。

1. 握り(グリップ)やフットステップに亀裂や変形がないこと。
2. シリンダ本体とシリンダキャップとの固定が確実で、緩みがないこと。
3. シリンダ本体と台座の固定が確実で、緩みがないこと。

●シリンダキャップや握り(グリップ)を外したり、分解しないでください。使用中に破損するおそれがあります。

●損傷、変形、緩み等の異常がある場合はすぐに使用を中止してください。
少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、ご購入いただいた販売店またはお客様相談室にご相談ください。

●ご使用は平らな場所で行ってください。

●ご使用の際にタイヤに空気が入らなくなった場合は、無理に空気を入れず直ちに使用を中止してください。ポンプ内が高圧になって破裂等のおそれがあります。異常がある場合は、販売店またはお客様相談室にご相談ください。

●直射日光が当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。劣化しやすくなります。

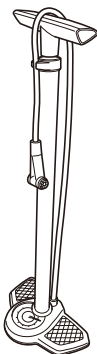
●ゴム・樹脂部品は経年劣化により変色・変形・破損が生じる場合があります。異常がある場合は直ちに使用を中止してください。

●空気圧はタイヤの指定空気圧に従ってください。

●空気圧ゲージの万一の故障も考慮し、過大な空気圧が充てんされることを防ぐために、タイヤを手で押すなどして適正な空気圧であることを確認してください。

●空気圧ゲージに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●火気の近くや高温になる場所に置かないでください。



このポンプはパッキン
など部品の交換や分解は
できません。(口金を除く)

販売元 **ブリヂストンサイクル株式会社**

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室 受付時間：月～土（日・祝日および指定休日は除く）9：00～19：00

電話：☎ 0120-72-1911、FAX：048-772-5316

（国際電話・インターネット電話での利用はできません。）



made in CHINA

A402101GMK PM-SPH ガンメタ&ブラック
アルミフロアポンプ



4 977716 073894

BRIDGESTONE

Bridgestone
Cycle
Sports
Parts

シンプルで素早い操作が
可能な口金を採用した
仏・米タイヤバルブ対応の
スポーツバイク用ポンプ



アルミフロアポンプ

www.bscycle.co.jp

《取扱説明書》

【1】バルブの種類

このポンプは以下のバルブに対応できます。



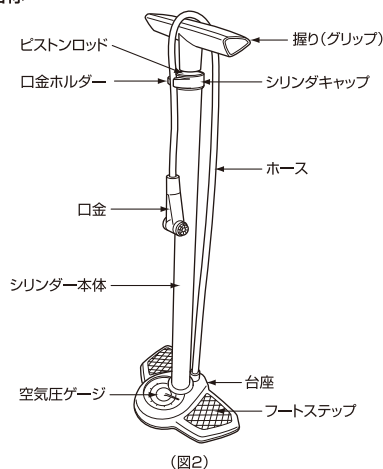
※上図はバルブキャップを外した状態

(図1)

【2】ホースの固定方法

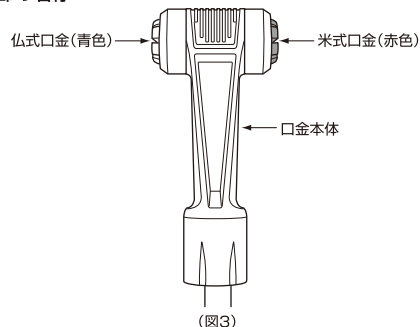
握り中央部の溝にホースを沿わせてから、口金ホルダーでホースを固定してください。(図2)

○各部の名称



(図2)

○口金部の名称



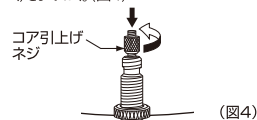
(図3)

【3】空気の入れ方

※タイヤ・チューブのバルブの前準備は、各種バルブの使い方をよくご覧ください。

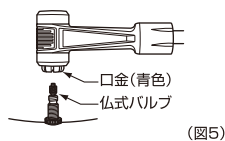
◆仏式バルブの場合

- 1 タイヤ・チューブの仏式バルブの前準備 (コア引き上げネジを2〜3回転ゆるめて、先端を瞬間押し、わずかに空気を抜く)をしておく。(図4)



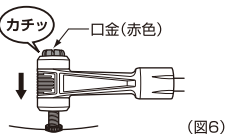
(図4)

- 2 ポンプの米式口金(赤色)を指で押し、仏式口金(青色)が押し出された状態にする。(図5)



(図5)

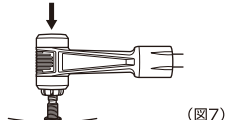
- 3 ポンプの口金(青色)をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込み、カチッと音がするまで押し込み、口金(赤色)が押し出された状態にする。(図6)



(図6)

- 4 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れる。

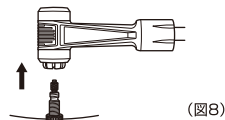
- 5 空気を入れ終わったら、口金(赤)を指で押し込み、ロックを解除する。(図7)



(図7)

⚠ ロックを解除せずに、無理に引き抜くと口金内部やバルブが注意 破損するおそれがあります。

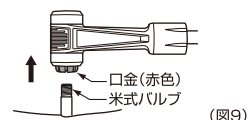
- 6 バルブから口金を外し、最後にバルブのコア引き上げネジを締める。(図8)



(図8)

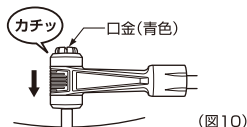
◆米式バルブの場合

- 1 ポンプの仏式口金(青色)を指で押し、米式口金(赤色)が押し出された状態にする。(図9)



(図9)

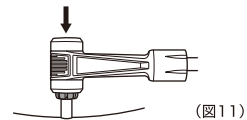
- 2 ポンプの口金(赤色)をタイヤ・チューブのバルブにしっかりと差し込み、カチッと音がするまで押し込み、口金(青色)が押し出された状態にする。(図10)



(図10)

- 3 口金とバルブがしっかりと接続されていることを確認し、空気を入れる。

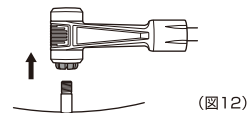
- 4 空気を入れ終わったら、口金(青)を指で押し込み、ロックを解除する。(図11)



(図11)

⚠ ロックを解除せずに、無理に引き抜くと口金内部やバルブが注意 破損するおそれがあります。

- 5 バルブから口金を外す。(図12)



(図12)